

令和5年度 施策評価シート

基本目標		安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政策	460	安心して子育てができ、子ども・若者が夢や希望をもてるまちをつくる
施策	463	支援が必要な子ども・若者が安心して暮らせるしくみをつくる
施策の目標	虐待の発生を予防するための支援の強化、関係機関による支援体制の確立など、まち全体での虐待防止の環境が整っています。また、困難を抱えた子どもと家庭への支援体制が充実することで、次代を担う子ども・若者たちが、安心して健やかに成長しています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「児童虐待を疑った時の通報先を知っている」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	26.7				37.0					50.0
実績	26.7				25.3					
指標名	「子どもに必要な支援が行き届いている」と思う区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	45.5				50.0					60.0
実績	45.5				58.6					

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
平成28年度に実施された「東京都子供の生活実態調査」のデータ提供を東京都から受け、その分析結果を受けて、平成30年3月に「墨田区子どもの未来応援取組方針」を策定した。 当該取組方針に関連する各事業は個別計画に基づき庁内各課で進めている。	R2	227
	R3	209
	R4	1,221

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	関係各課所管事業において、子どもの未来応援(子どもの貧困対策)関連事業が着実に実施されている。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
「墨田区子どもの未来応援取組方針」に基づき、関係各課所管事業の中で子どもの未来応援(子どもの貧困対策)に関する事業についてそれぞれ検討し、同時に、国や都の動きを捉えて新たな制度や補助を活用した上で、対策事業を計画的に推進しているため。	
【今後の具体的な方針】	
推進の進捗管理のため「子どもの貧困対策推進本部」を開催し、「子どもの未来応援に関する施策一覧」の事業内容及び前年度実績の報告を行う。また、東京都立大学子ども・若者貧困研究センターが本区を対象として令和5年1月～2月に実施した「令和4年度こどもの生活実態調査」について、令和5年度に分析を行い、対策事業に役立てる。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
						評価対象年度
1	子どもの未来 応援事業	1,207	3,272	4,479	1	現状維持
					1	令和4年度
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

令和5年度 事務事業評価シート

施 策	463	支援が必要な子ども・若者が安心して暮らせるしくみをつくる	部内優先順位
事 業 名	子どもの未来応援事業費		
目 的	将来を担う子どもの未来を応援するため、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図る子どもの未来応援(子どもの貧困対策)を総合的に推進する。		主管課・係(担当)
			厚生課生活支援・相談支援担当
			03-5608-8517
対 象 者	生活困窮世帯		
根 拠 法 令	子どもの貧困対策の推進に関する法律		
関 連 計 画	墨田区子どもの未来応援取組方針(平成30年3月策定)		
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営
			人員体制・委託先
			常勤1
事 業 内 容	<p>「墨田区子どもの未来応援取組方針」に基づき、関係各課所管事業の中で子どもの未来応援(子どもの貧困対策)に関する事業についてそれぞれ検討し、同時に国や東京都の動きを捉えて新たな制度や補助を活用した上で対策事業を計画的に推進していく。</p> <p>推進の進捗管理のため、「子どもの貧困対策推進本部」を開催し、「子どもの未来応援に関する施策一覧」の事業内容及び前年度実績等について報告を行う。</p> <p>対策事業の1つ、「子どもの居場所ネットワークづくり」については、情報交換会等を行っている。</p>		
経 過	開始年度	平成28年度	終了予定
	<p>子どもの貧困対策の推進に関する法律(平成25年法律第六十四号)</p> <p>子供の貧困対策に関する大綱(平成26年8月29日閣議決定)(令和元年11月29日閣議決定)</p> <p>子供の未来応援国民運動(平成27年4月から開始)</p> <p>墨田区子どもの未来応援取組方針(平成30年3月策定)</p> <p>第4次墨田区地域福祉計画に墨田区子どもの未来応援取組方針を盛り込んだ(令和4年3月策定)</p> <p>令和5年1月～2月、東京都立大学子ども・若者貧困研究センターによる「令和4年度こどもの生活実態調査」の実施に協力。</p>		
議 会 質 問 の 状 況	令和4年区民福祉委員会、食品ロス削減対策特別委員会等で、子どもの居場所ネットワークづくり事業(子ども食堂・地域食堂)の取組等についての質疑応答あり。		
そ の 他 特 記 事 項	<p>令和4年度は原油価格・物価高騰に対する緊急対策として臨時的に「墨田区食支援団体利用環境整備緊急補助金」の交付を行った。</p> <p>本取組を活かし、令和5年度は食品ロス削減対策の一環として「墨田区食支援団体利用環境整備等運営補助金」を新設、更なる利用促進のため補助対象を拡大して実施する。</p>		

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		174	172	241	221	1,221	5,442
A.決算額(令和5年度は見込み)		150	151	227	209	1,207	5,442
財 源	国						1,500
	都						500
	その他						
一般財源		150	151	227	209	1,207	3,442
執行率(%)		86.2%	87.8%	94.2%	94.6%	98.9%	100.0%
B.人コスト				3,529	3,518	3,272	
総事業決算額(A+B)		150	151	3,756	3,727	4,479	
予算書P(令和5年度)	p167-21	執行実績報告書P(令和4年度)		P103-21			

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
旅費	普通旅費	1	旅費	普通旅費	1	旅費	普通旅費	37
需用費	消耗品費等	158	需用費	消耗品費等	157	需用費	消耗品費等	155
負担金補助及び交付金	子どもの居場所ネットワークづくり運営補助	50	負担金補助及び交付金	子どもの居場所ネットワークづくり運営補助	1,050	委託料	調査・研究委託料	3,500
						負担金補助及び交付金	子どもの居場所ネットワークづくり運営補助	1,750

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	子どもの貧困対策推進本部の会議の開催数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1	R7	目標	-	1	1	1
				実績	-	1	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
	実績	1	1	2				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	「墨田区子どもの未来応援取組方針」に関連する各課所管が集まり、意見交換や、国などの動き等についての情報共有などを行うことで、子どもの貧困対策を推進できるため。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「食で繋がるネットワーク会議」の開催数				単位	回
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
1		R7	目標			1	1	
			実績			1	1	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		1	1	1	1	1	1	
実績	1	1	1					
指標の選定理由及び目標値の理由								
子どもの居場所ネットワークづくりとして、食事提供活動を通じ、子どもの居場所づくりを行っている区内の団体及び区との連携、ネットワークを形成することができるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	「墨田区子どもの未来応援取組方針」に基づき、関係各課所管が対策事業を計画的に推進していく。また、「子どもの貧困対策推進本部の会議」及び「食で繋がるネットワーク会議」を継続的に開催する。

課題・問題点

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標					単 位	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
				目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	「食で繋がるネットワーク会議」の開催数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1	R7	目標	-	-	1	1
				実績	-	-	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		1	1	1	1	1	1	
実績		1	1	1				
指標の選定理由及び目標値の理由								
子どもの居場所ネットワークづくりとして、食事提供活動を通じ、子どもの居場所づくりを行っている区内の団体及び区との連携、ネットワークを形成することができるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	「食で繋がるネットワーク会議」を継続的に開催する。

課題・問題点

補助金名称	墨田区食支援団体利用環境整備緊急補助金			主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区食支援団体利用環境整備緊急補助金交付要綱			厚生課生活支援・相談支援担当	
補助概要	物価高騰等の影響により困窮している世帯及びひとり親世帯等（以下「生活困窮世帯等」という。）に対して、食の提供とともに適切な支援機関へつなぐ取組を実施している区内の子ども食堂及び地域食堂並びにフードパントリー（以下「食支援団体」という。）に、利用環境整備に係る経費の一部を補助する。			03-5608-8517	
目的	生活困窮世帯等の食支援団体利用の促進を図り、必要な支援を行う。				
対象	区内の食支援団体				
基準	区独自基準				
補助条件	(1) 生活困窮世帯等に食の提供及び適切な支援機関へつなぐ取組を実施する食支援団体であること。 (2) 区内で、月に1回以上、複数月に実施していること。 (3) 適切な会計処理が行われていること。				
経過	開始年度	令和4年度		終了予定	令和4年度
	令和4年6月、区内の子ども食堂、地域食堂、フードパントリーに対して原油価格・物価高騰の影響調査を行った結果、周知や広報に関する課題等を挙げた団体が大半を占めた。 これを受け、食支援活動の維持及び生活困窮世帯等の利用促進を図るための総合緊急対策として、令和4年9月議会で補正予算を計上し、利用環境整備に係る経費の一部を補助する当該事業を開始した。				
議会質問の状況	令和4年9月区民福祉委員会で、本補助金の質疑応答あり。				
その他特記事項					

予算・決算額推移（千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額（事業費）						1,000	
決算額（令和5年度は見込み）						1,000	
財源	国					0	
	都					0	
	その他					0	
一般財源		0	0	0	0	1,000	0
執行率（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	#DIV/0!

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	補助金交付団体数				単 位	団 体
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		10	R4	目標	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	10	-	-	-
		実績	-	-	10	-	-	-
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区内の食支援団体に利用環境整備に係る経費の一部を補助することで、生活困窮世帯等の食支援団体利用の促進を図り、必要な支援を行うため。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	実施状況や利用者等に関する情報を区と共有した食支援団体数				単 位	団 体
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		10	R4	目標	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		-	-	10	-	-	-	
実績		-	-	10	-	-	-	
指標の選定理由及び目標値の理由								
本補助金は、生活困窮世帯等に対して食の提供だけでなく適切な支援機関へつなぐ取組を実施する区内の食支援団体を補助対象としているため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	<p>令和4年度は原油価格・物価高騰に対する緊急対策として臨時的に本補助金の交付を行った。</p> <p>本取組を活かし、令和5年度は食品ロス削減対策の一環として「墨田区食支援団体利用環境整備等運営補助金」を新設、更なる利用促進のため補助対象を拡大して実施する。</p>

課題・問題点